

青谷町総合支所「鳥取市新市場振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括	中期(～令和元年度)における総括	R2年度				R3年度				備考	担当課				
			短期	中期	長期			実施内容	予算額(千円)	決算額(千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容	予算額(千円)	決算額(千円)			目標達成度	事業の方向性		
			～29年度	～R元年度	～R5年度																
①地域コミュニティの増進、活力のあるまちづくり	①青谷地区を中心としたコンパクトなまちづくりを進め、憩いや賑わいの空間を創出する。	地域生活拠点の整備【生活基盤の充実】 【工業の振興】	○青谷憩いの場整備等	○青谷憩いの場整備等		広場測量設計を完了。旧公民館及び講堂の解体撤去を完了。	計画していた施設整備をすべて完了 広場は公共空地として都市環境課が所管し、維持管理は支所で行うが芝生の管理は地域の団体に依頼する。	施設整備 完了	-	-							R元年度で完了	都市企画課 青谷町総合支所			
			○JRR駅前広場周辺整備等	○JRR駅前広場周辺整備等		・広場測量設計業務を完了。 ・バス待合所建築設計を完了。 ・駐在所の解体撤去を完了。	計画していた施設整備をすべて完了 バス待合所に観光案内コーナーを併設し、観光情報の提供に利用する。	施設整備 完了	-	-								R元年度で完了	都市企画課 青谷町総合支所		
			○企業誘致	○企業誘致	○企業誘致	西部地域三町で候補地をピックアップし、工業団地造成における諸課題に対する関係者の意見聴取を行いながら、候補地を検討している。企業立地・支援課と連携し、企業誘致に努めている。	工業団地設置における諸課題や候補地の検討	工業団地設置における諸課題や候補地の検討に努める。	工業団地設置における諸課題や候補地の検討	-	-								企業立地・支援課 青谷町総合支所		
	②全体的に人口が減少し高齢化が進む状況の中、各地区公民館は地区の特性を活かした事業に取り組んでいる。	地域活性化イベントの再構築【協働のまちづくりの推進】	○鳥取市西いなば地域振興ランドデザインとの連携 ○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着	青谷ようこそ市場 ・青谷ようこそ市場は、支所が事務局となっており、参加団体の認識が低かったが、H29年度より各回の担当団体を決め、自主性を高める試みを実施。一定の効果があったと判断。 ・1年目のH28年度より2年目のH29年度は来場者増。	青谷ようこそ市場 ・町外からの集客を図るため、チラシの新聞折り込みを行い、広くイベントを周知した。 ・青谷ようこそ市場は、支所が事務局となっており、参加団体の認識が低かったが、H29年度より各回の担当団体を決め、自主性を高める試みを実施。一定の効果があったと判断。 ・1年目のH28年度より2年目のH29年度は来場者増。 R元年度 77 R元年度 84	青谷ようこそ市場 ・町外からの集客を図るため、チラシの新聞折り込みを行い、広くイベントを周知した。 ・青谷ようこそ市場は、支所が事務局となっており、参加団体の認識が低かったが、H29年度より各回の担当団体を決め、自主性を高める試みを実施。一定の効果があったと判断。 ・1年目のH28年度より2年目のH29年度は来場者増。 R元年度 77 R元年度 84	2,850										青谷町総合支所		
			○各地区のまちづくりリーダーの発掘 ○各地区のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討	○各地区のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討	○まちづくりリーダーの発掘・育成 ○まちづくり団体の育成 ○まちづくり協議会組織の充実	・青谷の地域資源(鳴り砂、因州和紙、青谷上寺地遺跡など)を次世代に継承するため、様々な取組を行う青谷地域づくり連絡協議会への支援を行った。 ・積極的に都市部の地区と交流を図り、活動の輪を広げる団体を支援した。 ・まちづくりに関する各種団体等の支援を通じて、意識醸成を図る中で、意欲的に取組む団体・リーダーの育成を進めることができた。	・青谷地域の自然や歴史文化の魅力を地域住民に啓発するとともに、保全活動を推進する青谷地域づくり連絡協議会への支援を行う。 ・各地区のまちづくり協議会の組織強化を支援し、リーダーの育成につなげる。	・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体を支援 ・各地区のまちづくり協議会組織体制の確認及び課題の把握、情報交換	・青谷地域の自然や歴史文化の魅力を地域住民に啓発するとともに、保全活動を推進する青谷地域づくり連絡協議会への支援を行う。 ・積極的に都市部の地区と交流を図り、活動の輪を広げる団体を支援した。 ・まちづくりに関する各種団体等の支援を通じて、意識醸成を図る中で、意欲的に取組む団体・リーダーの育成を進めることができた。	1130										協働推進課 青谷町総合支所	
			○各団体のまちづくりリーダーの育成 ○各団体のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討	○各団体のまちづくりリーダーの育成 ○各団体のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討	○まちづくりリーダーの発掘・育成 ○まちづくり団体の育成 ○まちづくり協議会組織の充実	・青谷の地域資源(鳴り砂、因州和紙、青谷上寺地遺跡など)を次世代に継承するため、様々な取組を行う青谷地域づくり連絡協議会への支援を行った。 ・積極的に都市部の地区と交流を図り、活動の輪を広げる団体を支援した。 ・まちづくりに関する各種団体等の支援を通じて、意識醸成を図る中で、意欲的に取組む団体・リーダーの育成を進めることができた。	・青谷地域の自然や歴史文化の魅力を地域住民に啓発するとともに、保全活動を推進する青谷地域づくり連絡協議会への支援を行う。 ・各地区のまちづくり協議会の組織強化を支援し、リーダーの育成につなげる。	・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体を支援 ・各地区のまちづくり協議会組織体制の確認及び課題の把握、情報交換	・青谷の地域資源(鳴り砂、因州和紙、青谷上寺地遺跡など)を次世代に継承するため、様々な取組を行う青谷地域づくり連絡協議会への支援を行った。 ・積極的に都市部の地区と交流を図り、活動の輪を広げる団体を支援した。 ・まちづくりに関する各種団体等の支援を通じて、意識醸成を図る中で、意欲的に取組む団体・リーダーの育成を進めることができた。												
	③青谷高等学校は、特色のある取組や地域との繋がりを強化に取り組む。	①「卓球のまち青谷」の復活【スポーツ・レクリエーションの振興】 ○青谷高等学校活性化に向けた組織立ち上げ ○「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球教室・卓球大会の開催 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○卓球のまち青谷の復活	○卓球のまちづくりの推進	○卓球のまちづくりの復活	「卓球のまち青谷」の復活 卓球教室・青谷オープン卓球大会の開催などを通して、青谷高校卓球部及びOB等の役員協力など、青谷地域住民と一体となって地域再興意識を共有する基盤づくりを進めることができた。	「卓球のまち青谷」の復活 卓球教室・青谷オープン卓球大会の開催などを通して、青谷高校卓球部及びOB等の役員協力など、青谷地域住民と一体となって地域再興意識を共有する基盤づくりを進めることができた。	「卓球のまち青谷」の復活 卓球教室・青谷オープン卓球大会の開催などを通して、青谷高校卓球部及びOB等の役員協力など、青谷地域住民と一体となって地域再興意識を共有する基盤づくりを進めることができた。	400										青谷町総合支所		
			○国際交流事業の継続・拡大 ②地域住民と連携した「青谷学」【課題探究】取組の推進 ③保育所、小中高との連携強化 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○国際交流事業の継続・拡大 ②地域住民と連携した「青谷学」【課題探究】取組の推進 ③保育所、小中高との連携強化 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。											青谷町総合支所
			○青谷高等学校活性化に向けた組織立ち上げ ○「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球教室・卓球大会の開催 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○青谷高等学校活性化に向けた組織立ち上げ ○「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球教室・卓球大会の開催 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。											青谷町総合支所
			○青谷高等学校活性化に向けた組織立ち上げ ○「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球教室・卓球大会の開催 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○青谷高等学校活性化に向けた組織立ち上げ ○「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球教室・卓球大会の開催 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業 ○各種イベント等への参加 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。											青谷町総合支所
④歴史的資源・自然的資源・農産物を含む地場産業・文化的資源などを道の駅を核として有効活用した取組を進めることが、中山間地域対策に重要であり、住民が誇れるまち・魅力あるまちをめざし交流人口の拡大を図る。	地場産業の育成【農林水産業の振興成長産業化】	○地場産業の現状把握	○地場産業の現状把握	○地場産業の現状把握	市民活動を通し、特産物の販売及びびらんと納税商品などへ販路拡大をPR。ダイハツ工業生活協同組合との特産物の販売、取引を行った。	・市民活動を通し、県外のイベントへ出店し特産物の販売・PRを実施した。 ・県外企業への販路拡大でダイハツ工業生活協同組合との青谷町の特産物の販売、取引も引き続き行っている。	・市民活動を通し特産物の販売・PR及びびらんなる販路拡大。 ・池田市との交流事業を年2回から3回計画 ・池田市ダイハツ工業生活協同組合との特産物販売を継続	-										経済・雇用戦略課 農業振興課 青谷町総合支所			
		○特産品の販路拡大	○特産品の販路拡大	○特産品の販路拡大	就農を中心とした担い手育成。現在、研修生2名が就農の研修中。H30年度に経営継承で就農予定。就農について関係機関の協力により育成指導中。	・農業研修生2名が、H29年度に就農研修を終え、H30年に経営継承により新規就農した。 ・H30年度から地域おこし協力隊員1名が原木シタケ生産の研修を開始したが、令和元年度末まで退職し、2年間の研修を終えた。	研修継続を予定していた地域おこし協力隊員が、急遽令和元年度までで活動を中止したため2年度の計画はなくなり、3年度以降に新たな事業に取組めるか再検討する。	-									林務水産課 農業振興課 青谷町総合支所				
		○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	○夏泊朝市の実施・水産資源を活用した地域の活性化・交流人口の拡大	例年に比べ時化の影響もあり漁の回数は減ったが昨年並みの実績があった。	夏泊朝市は鳥取県漁協夏泊支所の運営で毎年開催され、集客も安定して認知度も上がってきた。	・夏泊朝市は、実施主体である漁協の方針により事業整理され、令和2年度からは実施されないことになった。定置網漁は継続される。 ・「あおいち」イベントと漁協夏泊支所の協力は継続す方向で協議。	夏泊の定置網漁は今後も継続される。	-										林務水産課 青谷町総合支所		

